レッスン：NO/SPA56

テーマ：素質的可能性のサイクル

SPA56/KE9/25/11

私の姉妹・兄弟たち、スピリット、光、火の子供達よ。私たちは常に主、絶対、主の聖性に抱かれています。

過去のレッスンでは様々なシンボルについてたくさん述べてきました。それらはいろいろなサイクルから現在のパーソナリティーに提供されるものです。前に述べたように、最初に現在のパーソナリティーの大きなサイクルがあります。そのサイクルによって、実存の諸世界のなかで、生の現れは制限ある現れのなかに入ります。言い換えれば、この生の現れはその本質をもはや現すことはせず、そこには二つの性という現れがあります。

ですから、この可能性を提供する素質的可能性のサイクルがありますが、この同じサイクルが無知をパーソナリティーに提供しています。なぜなら、生のスパークが無知のなかに入るやいなや、無知を現すという可能性のなかに入るからです。なぜならそれも可能性だからです。そして同じ大きなサイクルが、今や無知となっている現在のパーソナリティーに無知から出るという可能性を提供しています。

そのためには、現在のパーソナリティーは様々な小さな素質的可能性のサイクルを経なければなりません。現在のパーソナリティーは無知に入るためにそれらの小さなサイクルを経る必要はありませんでした。というのも、現在のパーソナリティーは以前はセルフ、自己というものを現していなかったからです。それは純粋なスパークであり、それは自動的に無知のなかに入ったのであり、それまでは意味、二元性の現れを経験していなかったのです。その変化は瞬時のものでした。しかし今や、現在のパーソナリティーが無知の限界から出るために、意味、二元性の現れを経験しています。そして私たちが知っている二元性があり、時間・空間という意味があり、これらを経験している現在のパーソナリティーは小さな素質的可能性のサイクルを経なければならないのです。

多くのレッスンのなかで二次元のシンボル、様々な星について述べました。しかし最近は三次元のシンボル、色々なタイプのピラミッドについて話しました。最初の小さな素質的可能性のサイクルにおける現在のパーソナリティーは啓発に向けて、より良いセルフを現すことに向けていかなる努力も示しません。

**このサイクルのなかでは現在のパーソナリティーは本能的意識のセルフ・エピグノシスを現しています。このサイクルのなかで何回ぐらい転生を重ねるでしょうか？多くの転生を生きますが、回数は決まっているわけではありません。このサイクルが完了すると、現在のパーソナリティーは次のサイクルに入り、今や潜在意識的意識のセルフ・エピグノシスを現しています。**

そのサイクルの初めの頃は、ここでもより良いセルフを現す事に対する努力は見られませんが、数多くの転生を重ねた後、徐々にゆっくりと自分自身について問い始めます；初めは勿論自分自身の利益のために、いかにより良いセルフを現すべきかと。そして、その後徐々に他人を助けるという理由、いい訳と共に。この理由、いい訳が本当かどうかは別問題ですが。そして今私たちはより高いレベルの気づきを現すことに向けて、それらの様々なタイプのピラミッド、より良いセルフ、自己を現すための様々な助けがあります。

Page2

前のレッスンで説明したように、これら二つのサイクルにおける現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの墓のなかにいます。それは大きな四面ピラミッドの下にあり、地のエレメントのなかにあり、地のエレメントに囲まれています；現在のパーソナリティーがどの方向を向いても、地にフォーカスすることになります。なぜなら、地中にいるからです。例え私たちが「誰かを愛する」と言ったとしても、これら二つのサイクルにある現在のパーソナリティーは本当に誰かを愛しているのでしょうか？現在のパーソナリティーとは思考・行動の仕方以外の何ものでもありません。本当に現在のパーソナリティーはその現れを愛しているのでしょうか？それとも現在のパーソナリティーがそれ自身を現すその手段（＊肉体のこと）を愛しているのでしょうか？言い換えれば、私たちはその現れを愛しているのでしょうか？それとも肉体を愛しているのでしょうか？…それが美しいか否かという評価のもとに、私たちが理解する美という概念のもとに、つまり肉体的美しさのもとに。

　　これらのサイクルのなかで私たちは今だ誰かを愛する、愛さないという判断と共に物質にフォーカスしています。何人ぐらいの人が（＊肉体、物質ではなく）現れの故に人を愛すると考えますか？後になって失望する人が沢山います。

ですから、これら二つのサイクルにいる間、現在のパーソナリティーは常に地のエレメントにフォーカスしています。なぜなら、肉体は主に地のエレメントを使用してできているからです；他のエレメントはただこのエレメントを活性化し、それを真の現在のパーソナリティー（勿論それはサイコノエティカル体ですが）と結びつけているだけです。

以前に、現在のパーソナリティーの部屋を去る時には、言い換えれば現在のパーソナリティーの墓を出る時には、現在のパーソナリティーは地上にある大きな四面ピラミッドのなかに自分自身を見いだす、と述べました。それでは現在のパーソナリティーはこの地のエレメントを背後に残すのでしょうか？そうです、しかし、自分自身を現すために使用する身体はまだこのエレメントからできています。ですから、大きな四面ピラミッドのなかにいる

**現在のパーソナリティー、三番目のサイクルにいる現在のパーソナリティーが地のエレメントにフォーカスしない、などとは考えないでください；なぜなら、現在のパーソナリティーは徐々にゆっくりと意識的意識のセルフ・エピグノシスを現すようになるからです。**

**自動的に意識的に生きるようになるのではなく、少しずつそうなっていきます。**

**意識的に生きるとはどういう意味でしょうか？**

**それは現在のパーソナリティーが徐々に自分の無知を理解するようになり、自分自身を無知という制限から解放するために、より良いセルフを現すためにワークをし始める、ということです。**

**それは同胞の人間に対してより役立つようになるということです。**

いいですか、それは非常に困難なワークです。なぜなら、現在のパーソナリティーは多くの場合、再び地のエレメントに魅惑されるからです。その理由は、現在のパーソナリティーがまだ五つの超感覚ではなく五感を使用して自己を現すからです。**五芒星はまだ下向きになっています。勿論、五芒星を本来の適切な向き、上向きにするための努力が必要です。そうなれば現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの本来の感覚である五つの超感覚を現し始めるようになります。しかし、現在のパーソナリティーがいまだこの素質的可能性のサイクルにいる間に、それが生じるでしょうか？答えはノーです。このサイクルのなかではノーです。このサイクルは実際水の洗礼の完了です。**

そうです、現在のパーソナリティーはまず最初に、何が正しくて何が間違っているか、何が有益で何が有益でないかを認識するようになります。

言い換えれば、このサイクルが完了すると、次のサイクルの準備ができるようになります。そうです、しかし、

そのサイクルに入るためには現在のパーソナリティーは現在のパーソナリティーの最大のミステリーの一つを経る必要があります。それはイエス・キリスト・ロゴスによって直接行われるミステリーであり、それは火の洗礼のミステリーです。

このサイクルのなかで現在のパーソナリティーは徐々に超意識的に適切な感覚、つまり超感覚を使用するようになります。経験に基づいた知識、実際の知識です。

Page3

以前のレッスンで経験的知識は三番目のサイクルでもスタートすると言いました。その通りなのですが、それは継続的にそうなるということではありません。四番目のサイクルでは、言い換えれば火の洗礼が行われているなかでは沢山の経験的知識があります。それは誰もあなたから奪うことのできない知識、誰もあなたにそうではないと言うことのできない知識です。なぜなら、経験的知識はあなたがこの世界で触れて確かめることができるほどに確かだからです。その経験は超意識的です。そこで生じていることを言葉で現すことは不可能です。

火の洗礼は四番目のサイクルのなかで完了するのでしょうか？そうではありません。それは次のサイクル、五番目のサイクルで完了することでしょう。

**五番目のサイクル、それは完全にあらゆる意味を越えています。それはサブスタンスと私たちが呼ぶマインドのバイブレーションをも越えています。それはスーパーサブスタンスと呼ぶマインドのバイブレーションの中にあります。**

**そして勿論、最初の磔（はりつけ）があります。**

**それは現在のパーソナリティーのバランスです。バランスと言うとき、それは背後に残されて、その場所は調和に取って換わられます。現在のパーソナリティーがその調和のステートに留まるかどうかは別問題ですが、そこには可能性があります。現在のパーソナリティーは自己実現に到達し、現在のパーソナリティーはその不定形の体の再形成を完了しました。サイコノエティカル体としての現在のパーソナリティーはその形を完全に再形成し、その体を肉体とは異なった体として使うことができます；肉体を背後に残すかどうかは別問題ですが。現在のパーソナリティーはそうはしないでしょう。そうではなく、助けを必要とする他の人間たちを助けるために物質界に留まることでしょう；人々は無知の限界から自らを解放するために助けを必要としているからです。**

ですから、今やいわゆるキリスト意識に到達した現在のパーソナリティーがいます。キリスト意識はハートのセンターにある太陽のシンボルによって象徴されており、このシンボルは上向きの三角形のなかに十字架のある六芒星です。六芒星はその中心を同じにする上向きと下向きの二つの正三角形の結果です。下向きの三角形は実存の世界へのキリストロゴスの下降です。実存とは存在の世界から始まる人間のイデアのスパークであり、それゆえに天上人としての主がいるのです。

上向きの三角形は今や主から多くを現している現在のパーソナリティーを意味します。この瞬間の現在のパーソナリティーは主の愛、主のアガピから多くを現しており、これこそが私たちが同胞の人間たちに対する真のヒーリングと見なすべきものです。主の愛を現している人は誰でも、現在のパーソナリティーとしての自分が他の人のために何かをしていると主張することはできません。

エレブナはテクニカルなメソッドを受け入れません。エレブナで行うことは何であれ同胞の人間達のためにより良いセルフ、自己を現すことです。多くのレッスン、多くのセミナーのなかでこのことを話してきました。現在のパーソナリティーは気づきを高めて、主からもっと多くを現すことが可能となるよう、オーソドックスな方法でワークすべきです。なぜなら主は生の大海であり、この海は誰をも活性化するからです。

残念ながら、無知にいる間は私たちはこの海から何をも現しません。前に述べたように、ただ自分がフォーカスするものを現すだけです。地のエレメントにフォーカスしています。私たちは誰かを愛するといいます。しかしその相手のなかに自分にとって益、得になるものを見ているのです。肉体にとって特になるものを、自分の得、益と見なしています。

ですから、**キリスト意識は現在のパーソナリティーが自己実現したあと初めて到達するものであり、その時現在のパーソナリティーは初めて現在のパーソナリティーの体を肉体とは切り離された体として使って、いわゆるエクソマトシスと言われる現象を行うことが可能となります。**

エレブナのメンバーである真理の探究者はこのことを認識し、幻想、イリュージョンから離れるべきです。現象を行う能力、可能性を提供することを約束するものによって魅惑されるべきではありません。繰り返しますが、私たちの唯一の仕事はまずより良いセルフを現すこと、より謙虚になることであり、他の人々が私たちに向けて現していることに心を奪われることではありません。

Page4

そうです、もし私たちの益にならないことを現している誰かがいたら、もっと私たちの注意、理解を必要とするのはその人です。しかしだからといって、不適切であると私たちが理解することを奨励するという意味ではありません。過ち、そうです、無知にいる間は多くの過ちを犯します。しかし、少なくとも徐々にゆっくりと自分が間違っていることを理解する必要があります。なぜなら、もしそれを理解できないなら、どのようにして自分が現しているものを直し、間違いをストップさせることができるでしょうか。

真理の探究者として皆さんは自分が本当にエレブナに属するのか否かを自分自身に問いかけるべき時であると、私は感じています。そしてもしあなたがエレブナに属するなら、もしあなたがエレブナを受け入れるなら、あなた方はエレブナだけに従っていくべきです。いいですか、エレブナは他のことをやっている人については責任をもちません。私はそのような圧迫を自分の肩、あるいは他の誰の肩にも背負わせることはできません。これから行っていくことは非常に真剣なものです。私が今述べていることは世界中の全ての会員に向かって言っているのです；もしエレブナに留まることを決意するなら、まず最初に自分自身に対して真剣に、自分自身および他の人々に対して正直、誠実でなければなりません。

セミナーでも述べたように、責任ある人間として私たちは何であれ自分たちが提供するものに責任があります。なぜならそれはガイダンスのもとに行われるからであり、何であれ与えるものはテストされています。しかし、私たちはあなた方があちこちで手に入れてくることについてはテストしません。特にそれが職業として皆さんに提供されるものとしては。言い換えれば、皆さんにたくさんのことを約束するテクニカルな方法として提供されるものに関して。私たちは多くを約束することはしません。私たちはあなたの安全を約束します。そしてまた、もしあなた方が真剣な探究者であるなら、個々人の努力に応じて少しずつその目的に到達することを約束します。私たちはそれ以外のことは約束しません。このように言わねばならないことを残念に感じます。しかしまた、人々が自分の益にならないことを行っているのを見て、それを止めさせることができないのを残念に思います。なぜなら、あなた方各人には自由意志があるからです。私にできることは言葉で示すことだけです；私はあなた方のプライバシーに踏み込むことはできません。

さて、少し厳しく述べたことをお詫びします。しかしこれは自分のためではなくて、皆さん全員のために述べたのです。これは特定の会員、２，３の会員に対して話しているのではなくて会員全員に向かって話しています…それは、いっきに成長することを約束するようなもの、クラッシュするようなコースの罠に引っかからないようにです。そのようなものはありません。残念ながら、プロセスは非常にゆっくりと進みます；何であれあなたが得るもの、それはあなたのものであり、あなたに益になるものです。あなたは決して失うことはありません。これらは真の宝であり、あなた方はそれを獲得し、誰もそれをあなたから奪うことはできません。そして勿論、それは山をも動かすことのできるような信念です。

質問：この上位のセルフが最優先になる方法があるのでしょうか？

Ｋ：**上位のセルフと言うとき、それは実存の世界に入った生からのスパークです。**

**この上位のスパーク、つまり魂のセルフ・エピグノシスからの微細なスパーク、それは永遠のアトムを活性化させるスパークです。**

**永遠のアトムは現在のパーソナリティーを転生させるために行ったり来たりする乗り物です。**

**そして勿論、永遠のアトムとは現在のパーソナリティーの不定形の体つまりサイコノエティカル体、それにこのサイコノエティカル体を活性化させるスパークがプラスされたものです。そして私たちはこのスパークがサイコノエティカル体のなかで広がるように、これらの不定形の体を完全に再形成する必要があります。**

その時初めて私たちはこのスパークの本質を完全に現すことができるようになります。そして完全に現すとは、何であれ素質的可能性のサイクルが提供するものに他なりません。覚えているかもしれませんが、以前のレッスンで、自己実現した現在のパーソナリティーは何であれ素質的可能性のサイクルが提供するもの以上のことを現すことはない、と説明しました。

質問：私たちは新しい人生に入ります。そしてそれは素質的可能性のサイクルのそのサイクルによって決定されます。しかし、一回の人生のなかで一つのサイクルから次のサイクルへと移動する方法はあるのでしょうか？

Page5

Ｋ：一つのサイクルから次のサイクルへと移行すること、それはあるかもしれません。勿論、それを試み、自分自身のセルフについてワークし、より良いセルフを現すためにワークする、真の本質としての特質をより多く現すために、つまりサイクルによって与えられる可能性を現すためにワークするのは現在のパーソナリティーです。そしてそのサイクルのなかの全ての可能性を生かし、つまりそのサイクルをマスターするとき、つまりそのイニシエーションを終了させる時、私たちは次のイニシエーションに入ります。一つのイニシエーションの始まりと終わりは一瞬のうちになされるわけではありません。そのイニシエーションをスタートしてから終わるまで、おそらく多くの転生を重ねるでしょう。それが何回か、それは誰もわかりません。あるサイクルを終了させるために何回の転生が必要かは完全にあなた次第であり、あなたの永遠のアトムが生まれ変わるその全ての転生次第です。それはあなたの永遠のアトムが生まれ変わるそれらの転生次第です。

質問：二番目または三番目のレベルの意識における現在のパーソナリティーのための瞑想は時間・空間内における動きです。自己実現した現在のパーソナリティーはどのような瞑想を行うのですか？

Ｋ：**自己実現した現在のパーソナリティーは魂が行うのとおなじように黙想します。絶対生が黙想を現すのと同じように行い、それは瞑想ではありません。違う点は、もはや二元性が必要ない、思考も必要ではないということです。この黙想について言葉を使って説明するのは非常に困難です。**

四つのエレメントがあります。地のエレメント、火のエレメント、水のエレメント、空気・エーテルのエレメントです。地のエレメントが存在、実在し、形を帯びるためには他のエレメントが必要となります。特に水のエレメントが必要です。もし、泥をつくるために地のエレメントと水のエレメントを混ぜなければ、どうして地のエレメントが形を取ることができるでしょうか？空気のエレメントがそれを取り除いてしまうでしょう。形を維持するために他のエレメントも必要です。もしある温度にするために火のエレメントがなければ、そして同時に空気のエレメントもなければ、それは形を保つことはできません。この肉体からもし土以外の他のエレメントを取り除けば、肉体は朽ち始めるでしょう。もし水のエレメントを取り除くと、直ちに肉体は崩壊し、地のエレメントに戻ることでしょう。他のエレメントもそれぞれのバイブレーションに戻るでしょう。それはバランスの問題ではなくて、パーセンテージの問題です。他の惑星の物質はまた異なっています。

そのパーソナリティーが存在する（＊場所の）状況によってパーセンテージは異なってきます…この惑星上の様々な地域によっても異なります。同じパーセンテージのパーソナリティーは他の地域の他のパーソナリティーよりも、それらの状況にもっと耐えることができます。現象としては身体は全く同じでも、その身体におけるパーソナリティーの反応は異なります。肉体はもっと耐えることができます。しかしそれは身体ではなく、パーソナリティーです。それは物質ではありません。いいですか、物質はもっと耐えることができます。しかし、それは物質である肉体ではなく、パーソナリティーなのです。なぜなら、物質である肉体は聖霊によって築かれ維持されています。もし私たちが肉体を完全に聖霊の手に委ねれば、肉体は何も経ることはないでしょう。肉体があれこれ影響を受けるのは、肉体を使っているパーソナリティーのゆえです。ですから、それらの状況に生きているパーソナリティー、そうです、彼らはパーソナリティーとしてそれらの状況に慣れているのです。

最初に、そのようにしてあるパーソナリティーたちがやってきます。その数は今のところ説明しません。ある惑星に生を準備するためにそれらのパーソナリティーたちが来ます。彼らは徐々にゆっくりと受け入れられ、その惑星上で自分たちを現します。彼らは他の人々よりも少し早くやってきました。**彼らはこの惑星で転生しようとする人々を助けるためにここにいるのです。彼らは状態、状況を準備する必要がありました。彼らは人々を見いだす必要がありました。動物界のなかにいる自分を見いだすのです。彼らはこの惑星における最初の人間達によって理解されるような状況で、そこにいたのです。これは各惑星上で生じていることです。**

Page6

質問：しかし、人々が転生のサイクルに入ると、無知のなかに取り込まれたと見なすことでしょう。ですから、彼らはいかにして別のレベルを求めることができるのでしょうか？**それらの人間達は転生のサイクルのなかに留まるわけではありません。彼らはその特定の惑星に留まろうとしています、その特定の惑星のマスターとして、そして必要な時には自らの意志で転生します。彼らの数は惑星によって限られています。**正直に言って、私たちはそれらの実体についてはよく知りません。しかし、それらの実体は転生したときには人間と見なされます。彼らが私たちと同じように人間のイデアを通じて下降したのかどうか、私たちにはわかりません。それは私たちの理解を越えたところにいます。宇宙がどのようにして創造され、維持されているかは、絶対存在の直接的黙想の結果です。

質問：それぞれの惑星における活動は永遠の現在のなかに記録されていると思いますが…

Ｋ：そうです…

質問：それゆえに、自己実現したパーソナリティーがそれに同調するのは不可能です…

Ｋ：それは不可能です。なぜなら、前に説明したように、**それらのパーソナリティーたちは太陽系の父、母から直接来るからです。それは主の黙想の直接的な結果であり、主の黙想と私が言うとき、それは元型を通じて、つまり天上人を通じてということです。**

前に述べたように、

**私たちは主の黙想にアプローチすることは不可能です。**

**自己実現した現在のパーソナリティーにとってもそれは不可能です。**

**そして魂のセルフ・エピグノシスがそれにアプローチできるか否か、私にはわかりません。**

**この実存の世界にいるいかなる人間も、天上人の全体的本質については知りません。私たちにはわかりません。このバイブレーションにいる間に主に同調することは不可能です；目的があって主がバイブレーションを下げてあなたと同調するのでなければ、不可能です。あなたと同調するという主のブレーシス（＊意志）が必要です。主はそのバイブレーションを下げる必要があります。さもないと、もし主がそのステートに留まり、あなたがそのステートに同調すると、いいですか、この私たちの肉体は完全に焼けきれてしまいます。**

あなた方が直接に主の輝きを見ることはできません。もしあなたが誰かを見る時、主を現す姿を見るとき、

**あなたがイエス・キリスト・ロゴスを示す人間の形をした身体を見るとします。しかし、その状態はあまりにも輝いていて、まるで燃えている光のようです**；

しかし通常はあなたが主を見るとき、主はあなたを保護するためにカバーされています。それはまるであなたが輝いた白いガウンをまとう月を見るようなものです。カバーを掛けた僧侶のように。主が人間にコンタクトしてくる時には通常そのようにして来ます。もしあなたが直接主の顔を見ようとすると、主は消えてしまいます。

EREVNA/SPA56/KE9/N4